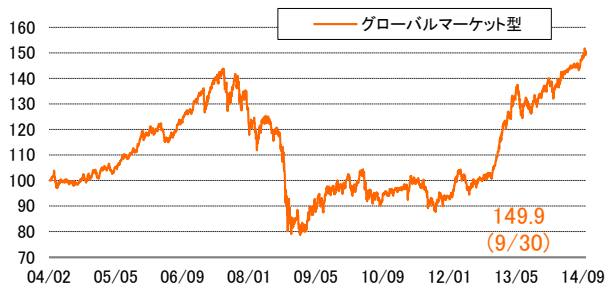


特別勘定クォーターレポート

スイス年金

新変額個人年金保険(無配当)

ユニット・プライスの推移



※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

参考 主な投資対象の投資信託の運用状況(出所:アパディーン投信投資顧問株式会社)

世界バランス・ファンド(適格機関投資家専用)

■ 基準価額の騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年
世界バランス・ファンド	2.01%	4.38%	7.36%	17.00%	75.40%

■ 資産別構成比

	ファンド	複合指数 (参考データ)	ベット
株 式	48.20%	50.00%	-1.80%
北米地域	29.52%	30.31%	-0.80%
欧州(除く英国)	7.45%	8.99%	-1.54%
英国	3.27%	4.20%	-0.93%
日本	5.00%	4.13%	0.87%
香港・シンガポール	1.56%	0.87%	0.70%
豪州・ニュージーランド	1.41%	1.51%	-0.10%
債 券	51.30%	50.00%	1.30%
米ドル圏	18.05%	17.35%	0.70%
欧州(除く英国)	17.74%	17.49%	0.25%
英国	2.79%	3.13%	-0.34%
日本	12.72%	12.04%	0.68%
現 預 金	0.50%	0.00%	0.50%
合 計	100.00%	100.00%	0.00%

■ 通貨別構成比

	ファンド	複合指数 (参考データ)
米ドル圏	48.24%	47.87%
ユーロ圏	23.68%	24.53%
イギリスポンド	8.93%	7.32%
豪ドル(含NZD)	2.28%	2.16%
スイス・フラン	1.30%	1.94%
日本円	15.57%	16.17%
合計	100.0%	100.0%

* 複合指数はMSCI Worldインデックスの50%、シティ世界国債インデックスの50%を加重平均した指数

特別勘定の名称	グローバルマーケット型
主な運用対象の投資信託	世界バランス・ファンド (適格機関投資家専用)
投資信託の運用会社	アパディーン投信投資顧問株式会社

ユニット・プライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ユニット・プライス	1.83%	3.88%	6.40%	14.88%	67.17%	49.90%

特別勘定資産内訳

	構成比(%)
現 預 金	4.3%
投 資	95.7%
合 計	100.0%

■ 上位10銘柄

株式	国名	業種	投資比率
ROCHE HOLDING AG-GENUSSS	スイス	ヘルスケア	2.48%
NOVARTIS AG-REG SHS	スイス	ヘルスケア	2.26%
CVS HEALTH CORP	アメリカ	生活必需品	2.21%
ROYAL DUTCH SHELL PLC-B SHS	イギリス	エネルギー	2.18%
BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	イギリス	生活必需品	2.16%
TENARIS SA-ADR	イタリア	エネルギー	1.89%
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	ヘルスケア	1.87%
ORACLE CORPORATION	アメリカ	情報技術	1.87%
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	アメリカ	生活必需品	1.87%
EOG RESOURCES INC	アメリカ	エネルギー	1.74%
合計			20.53%

債券	クーポン	償還日	投資比率
アメリカ国債	0.625	2016/11/15	1.39%
アメリカ国債	1.250	2018/10/31	1.26%
ドイツ国債	1.250	2016/10/14	0.97%
スペイン国債	2.100	2017/04/30	0.89%
ドイツ国債	4.250	2018/07/04	0.82%
イタリア国債	5.500	2022/09/01	0.69%
アメリカ国債	3.750	2043/11/15	0.67%
アメリカ国債	2.750	2023/11/15	0.57%
イギリス国債	4.250	2039/09/07	0.47%
イタリア国債	4.500	2026/03/01	0.43%
合計			8.17%

※当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。
※その他、3/3ページの「ご注意いただきたい事項」等を必ずご参照ください。

■運用コメント

市場概況

・日本株式

(7月)米国の株高の影響や月末にかけて円安が進行したことなどから上昇しました。
(8月)ウクライナの緊張、米国によるイラク空爆など地政学リスクへの警戒の高まりを主要因として、大型株を中心に下落傾向となりました。
(9月)大幅な円安と内閣改造による構造・規制改革進展への期待感を背景に上昇しました。

・日本債券

(7月)リスク回避需要の高まりを主要因として、国内の長期金利は低下しました。
(8月)欧米主要国の金利低下、良好な需給環境を背景に国内の長期金利は低下しました。
(9月)急速な円安の進行と株式市場の上昇、米国の金利上昇などを受けて、国内の長期金利は上昇しました。

・外国株式

(7月)ポルトガルの金融機関への警戒等から欧州主要国及び米国が下落した一方で、新興国は上昇しました。
(8月)世界的な長期金利の低下やウクライナ情勢の鎮静化を受けて、多くの先進国や新興国で上昇しました。
(9月)ウクライナに絡みロシアへの追加制裁を発動した欧州は一進一退、米国は軟化しました。

・外国債券

(7月)ニュージーランドが引き続き利上げを行いました。米国が小幅に上昇した以外、主要国の10年国債利回りは低下しました。
(8月)ドラギECB総裁がユーロ圏の景気減速を受けた追加金融緩和を言及するなど、ドイツ等の国債利回りは過去最低を更新しました。
(9月)米国の量的緩和に伴う資産買入れの停止が10月に迫り、欧米先進国の国債利回りはやや上昇しました。

・為替

(7月)米国の4-6月GDPにも反応して米ドルが全面的に上昇し、ユーロは対円で下落となりました。
(8月)緩和を順調に解除しつつある米ドルが上昇し、ユーロは対円で下落となりました。
(9月)ユーロ圏の追加利下げや、英国ポンドがスコットランド独立投票で動揺した影響で、米ドルの全面高となりました。

運用概況

・今四半期(2014年7月~9月)のファンドのパフォーマンスは、基準価額ベースで+4.38%となりました。月別に見ると7月が+1.32%、8月が+0.99%、9月が+2.01%となります。株式および債券は上昇、通貨も円安の影響を受けてプラスとなり、基準価額は上昇しました。
・今四半期のパフォーマンスは、ベンチマークを下回りました。その主なマイナス要因となった資産および地域配分効果において、債券のリターンが株式を上回っていたことで株式部門へのオーバーウェイトは資産クラスとしては若干マイナス、加えて地域配分においてブラジル等を含む新興国市場への投資が大きくマイナスしました。為替は、全般に中立の配分としたのでパフォーマンスへの寄与は限定的でした。銘柄選択効果は全体として若干のマイナスで、株式部門では米国のマイナスを欧州および日本が補い、債券部門では、デュレーションをベンチマーク対比で低めにしてきた日本がマイナスとなりました。
・今四半期の資産配分については、期初から僅かに株式のオーバーウェイト、債券のアンダーウェイトを基準とし、期中での変更はありませんでした。株式については、欧米をアンダーウェイトする一方で、日本やアジアをオーバーウェイトし、加えて新興国市場にも引き続き投資しています。債券については、国内外で中立的な配分としました。為替に関しては、期初に米ドルや英ポンドをオーバーウェイトする一方、ユーロをアンダーウェイトとしてきたのを、全般に中立へと変更しました。

運用方針

・米国など一部の株式市場が最高値圏で推移しているものの、世界的に景気見通しがやや改善傾向となり、超金融緩和の解除への思惑が台頭していることなどから、資産配分で株式はオーバーウェイトとし、ウクライナ情勢の影響を受けやすい欧州や英国をアンダーウェイトする一方、今後の成長期待から日本やアジアをオーバーウェイトとする予定です。
・債券はアンダーウェイトとし、各地域で全般に中立とする中、日本は現預金相当分をアンダーウェイトする方針です。
・為替に関しては、景況感の違いを背景に、金融政策の方向性や変更の時期にばらつきが予想されるものの、すでに織り込み済みと考えており、全般に中立とする予定です。

※当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。
※その他、3/3ページの「ご注意いただきたい事項」等を必ずご参照ください。

当資料はアクサ生命が新変額個人年金保険「スイス年金」の特別勘定について運用状況などを報告する資料です

ご注意いただきたい事項

▲ 投資リスクについて

この保険の据置(運用)期間中の運用は特別勘定で行なわれます。特別勘定資産の運用実績に基づいて年金額、死亡給付金額および解約払戻金額等が変動(増減)します。特別勘定資産の運用は、株式および公社債等の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあり、運用実績によってはお受け取りになる年金額や解約払戻金額の合計額が一時払保険料を下回ることがあります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。

▲ 元本欠損が生じる場合があります

解約の時期、被保険者の契約年齢等の諸条件により、ご契約者等が受け取る金額の合計額が、お払込保険料の合計額を下回る場合もあります。保険会社の業務または財産の状況の変化により、年金額、死亡給付金額、解約払戻金額等が削減されることがあります。

▲ 諸費用について

契約初期費	一時払保険料に対して 5.0% を特別勘定繰入前に控除します。
保険関係費	特別勘定の資産総額に対して(年率 0.75% +運用実績に応じた費用(※))/365日を毎日控除します。 ※ 運用実績に応じた費用:運用実績を毎日判定し、実績が年率 1.5% を超過した場合のみ、 超過分1%あたり0.1%(上限1.25%) を控除します。
年金管理費	年金支払開始日以後、支払年金額の 1% を年金支払日に控除します。
資産運用関係費	グローバルマーケット型 年率0.7344%程度

資産運用関係費は将来変更されることがあります。

その他お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

その他ご注意いただきたい事項

- 当資料は、特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 新変額個人年金保険「スイス年金」は、生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有されている訳ではありません。
- 新変額個人年金には複数の特別勘定グループが設定されており、「スイス年金」には「特別勘定グループ(TS型)」が設定されています。保険料繰り入れおよび積立金の移転は「特別勘定グループ(TS型)」に属する特別勘定に限定されます。「特別勘定グループ(TS型)」以外の特別勘定グループに属する特別勘定への保険料の繰り入れおよび積立金の移転はできません。
- 特別勘定および特別勘定の主な運用対象となる投資信託の内容が変更されることがあります。
- 特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用等を特別勘定資産から控除していることなどによるものです。
- ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

新変額個人年金保険(無配当)「スイス年金」は現在販売しておりません。

【募集代理店】

株式会社東京スター銀行



東京スター銀行

0120-330-655

(平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~17:00 年末・年始を除く)

ホームページ/ <http://www.tokyostarbank.co.jp>

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>